



Weekly Report



ロータリーを实践しよう！

佐世保北ロータリークラブ 2013～2014年度 RI 会長 / ロン・パートン ガバナー/ 塩澤恒雄

会長/緒方信行 幹事/横尾 寛 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8F カトレアホール (毎週月曜日)
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本日】会員数47名 出席 29名 欠 席 4名 出席規定免除会員 (14) 出席 12名 ビジター 0名 出席率 91.11%
 【前々回】会員数47名 出席 28名 メークアップ 2名 出席規定免除会員 (14) 出席 10名 修正出席率 93.02%

《会員卓話》

「30周年記念座談会 IV」

西沢 会員、松尾 会員、福田 会員



西沢 会員：50歳になったら佐世保RCに入会予定だったが、佐世保南RC会員で子供の頃からの友、富永雄幸さんに佐世保北RCを作るからとの誘いがあり佐世保RCのOKが出て

入会した。高祖父から教えられた理想の人間力10個のうちの一つ、地域の人のために最大に出来る限りの行動をする事という言葉は富永雄幸さんに見せると、これはロータリーの運営の原点に似ていると言われこれを中心に北RCを作っていこうと思った。北RCは優秀な人が多く一緒に行動をしたらよいと思った。RCは地域充実だ、いろんな職種の人がいて発展すれば長崎県、九州、日本、そして世界へと発展する。それが地方RCの原点だと思う。北RCの30年間の会長はみんな立派な人だ、地域にも貢献している。地域の人々に喜ばれるRCになって欲しい、お金や何かを作る事もいいが、自分が好かれる人間になって欲しい。これが1つのポイントだと思う。それが仕事もよくなるし地域も充実する。若い人はそう思って行動して欲しい。

松尾 会員：逸見嘉彦ガバナーの時代にRIの方針で新しいクラブを作る事になり佐世保北RCができた、私は初代幹事に決まっていた入会させられたという感じだった。1984年4月16日が設立総会で35名でスタートした。5月14日にRIから認証状が出た、どこのクラブも2～3か月以内にチャーターナイトを行うが、異業種の集まりの方々が、本当に皆仲良く友達になってから1年後にチャーターナイトをやろうと決めた。この時に出来上がったのが、村上初代会長の一に親睦、二に親睦、三四がなくて五に親睦という有名な言葉で当クラブの幹になって今も生き続けている、本当に仲の良いクラブの原点がそこ

にある。そして一年後にチャーターナイトをやった、当時会場の都合で2740地区では初めて夜に例会をやり、好評で今も夜の第2例会は続いている。30年間やってきた上で印象に残っているのは、10年目に栈会員が幹事になり、この時の勉強で職業奉仕の栈といわれるようになりそれに永田会員、中島会員が続いている。職業奉仕は2740地区でNo.1ではと思っている。又小西会員がシェルドン・コースを翻訳し、他に豊島会員、緒方会長の国際奉仕、福田会員を先頭にほとんどの国際大会に参加している。社会奉仕は中山会員などがいて、佐世保の中でも1番仲が良く勉強しているのは北RCではないかと思う。これが30年間培ってきた我々の財産であろうと思っている。

福田 会員：長く中央病院にいた関係で富永雄幸さん、鳥越敏明さんの薦めで入会した。入ってからいくつかの提案をしたが、開業医にとって昼の例会は大変なので夜の例会を月2回くらいして欲しいと言った。創立当時は皆さん大変勉強をしていたし高尚な話もたくさんしてもらった。私は当時開業間もなく、ロータリーは皆さんに任せて出席だけしていこうと考えていた、そんな中で提案し自分達の将来のために未来事業の積み立てを始めた。又ハウステンボスにいい設備があって海好きな人が集まり海にかかわる事や子供たちに繋がることを始めた。96-97の会長の時に、世界の会長賞に挑戦し一所懸命にやり会長賞を頂いた。またその時の会長賞のテーマの一つが世界大会に参加しようという事でパースガムに行った、その時感じたのが世界のロータリーは世界大会に行ってみて初めてわかるのだと思い、それから2回を除いてずっと行っている。

これからの若い世代のロータリアンに望むこと。

松尾 会員：この5年で11人の新会員が入会した。30周年の区切りがあり新しい年が始まっていく。大変内容が削られ薄くなった手続要覧です、ロータリーには変えてはいけない信念、基本がある、職業奉仕は変えてはいけないロータリーの基本です、そんなことを考え勉強しながらやっていってほしい。

《会長挨拶》

緒方信行 会長

本日は、30周年記念座談会として西沢会員、松尾会員、福田会員の卓話となっております。三人ともチャーターメンバーであり西沢会員は第3代目の会長で米山記念奨学会特別功労者として、毎年寄付をされて今年で29回目となっています。松尾会員は初代幹事、第8代目の会長で1998～99田島年度に第4分区代理を経験されております。福田会員は第13代目の会長で米山にも20回程寄付されていますが、ポールハリスフェロー、いわゆるマルチプルポールハリスフェローとして今年で20回の寄付をされ大口寄付者となっております。

佐世保北ロータリークラブの重鎮としての三人の話しを謹んで拝聴させていただきます。さて今月は識字率向上月間です。識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの協調事項ですが、1997年7月の会合で理事会は7月と定めましたが、2005年7月の理事会決定で7月から3月に移行しました。ユネスコの推計によれば、世界で15歳以上の8億人の人々が基本的な読み書き能力がなく、女性・女子は世界の非識字人口の64%以上を占めています。特に女性にとって読み書きと簡単な計算を行う能力は、教育的、社会的、経済的機会への扉を開く可能性があります。辞書の寄贈、学校建設、個人指導者としての奉仕のいずれの形をとるにしろ、ロータリアンは識字率を高める活動を積極的に行っています。

識字率の向上が少しでも世界に広まっていくことを心から祈念申し上げまして、会長挨拶と致します。

.....

《幹事報告》

横尾 寛 幹事

1. 例会変更

・伊万里RC

4月 2日（水）12：30→18：30～
龍水亭（観桜会、長寿お祝会開催のため）

・伊万里西RC

4月 3日（木）18：30～
龍水亭（観桜会のため）

・佐世保南RC

4月18日（金）12：30→18：00
佐世保玉屋 7F 文化ホール
（姉妹クラブ来訪・歓迎観桜例会のため）

・ハウステンボス佐世保RC

4月 8日（火）12：30～
ハウステンボス「トロティネ」
（レムブラント使用不可日のため）
4月29日 休会（定款第6条第1節）

2. 来 信

・国際ロータリー日本事務局

シドニー国際大会信任状 補足説明

・公財）米山梅吉記念館

- ①米山梅吉記念館 館報春号 Vol. 23
- ②米山梅吉記念館 春季例祭のご案内
4月26日（土）14時～ 米山梅吉記念館ホール
- ③賛助会ご入会のお願い

・ロータリーの友事務所

次年度14～15年度 雑誌委員長への『友』誌送付について

・ガバナーエレクト事務所

PETS及び次期幹事セミナーご出席のお礼
（宮原次年度ガバナー補佐宛）

・地区大会事務局

地区大会表彰について（緒方会長）
4月12日（土）本会議にて 表彰予定時間 17時25分頃
第2部（15：30からの本会議より）指定の席を準備しておりますのでそちらにお座り下さい。
※クラブ受付（平戸文化センター）にて胸花を準備しております。

3. 伝達事項

- ①3/25（火）18：30よりファーストイン佐世保にて第3回次年度理事会を開催いたします。出欠のお返事をよろしくお願い致します。
- ②地区大会へご参加の方、交通手段についてのご案内をセルフBOXへ入れております。ご確認よろしくお願い致します。
- ③3/31（月）次回例会は会員卓話富田耕司会員です。

《委員会報告》

北斗会 三谷秀和 会員

3月21日に中央ロータリークラブと対抗戦を行いました。残念ながら惜敗いたしました。

KKC 中野雄一郎 会員

4月14日にKKCの例会を行います。

.....

《RI ニュース》

若いリーダーが活躍した新世代コンファレンス

インドのラムクマール・ラジュさんとウガンダのウィンフレッド・カルンギさん。遠く離れた地に住むこの2人は、もちろんお互いに会うことはありませんが、共通点があります。それは、2人ともローターアクトであり、地区のローターアクト代表であるということ。さらに、ロータリーが開催した新世代コンファレンスを成功に導いた地域の若いリーダーでもあります。

昨年10月にインドのチェンナイで、11月にウガンダのカンパラで開催された新世代コンファレンス（3回目のコンファレンスは、3月にアルゼンチンのロザリオで開催されました）。その目的は、地域の若いリーダーとロータリー会員が集い、新会員にとって魅力的なロータリーづくりと若い人のロータリー活動への参加について意見を交換するというものです。

ラジュさん（マドラスセントラル・ローターアクトクラブ会員）とカルンギさん（カンパラシティ・ローターアクトクラブ会員）はそれぞれ、地元のロータリアンに依頼され、コンファレンス実行委員会の一員となりました。コンファレンスの企画・運営に携わったことは貴重な体験だったと話す2人。ラジュさんは、「意思決定やコミュニケーションのスキル、チームプレーの大切さ、重大な局面の対処の仕方など、さまざまなことを学びましたが、最も貴重だったのはロータリーの力を学べたことです」と話します。カルンギさんは、この経験がきっかけで、地元のロータリアンとの関係が強化されたと言います。「計画がしっかりしていれば、コンファレンスの企画・運営、奉仕プロジェクト、国際ロータリー会長が参加する晩餐会など、どんなに大変な行事でも実行できるんだと学びました」

財団記念誌タイトルのアンケートに答えて 国際大会に無料登録のチャンス

「世界でよいこと」に取り組んできたロータリー財団は、2016 - 17年度に100周年を迎えます。財団はこれを祝い、著作家デービッド・フォワード氏に依頼して、財団の歴史を記念誌にまとめます。

そこで、この大切な出版物にふさわしいタイトルを決めるに当たり、皆さまのご協力をお願いします。こちらのアンケートで、4つのタイトルから一つ選ぶか、または別のタイトルをご提案ください（画面右上のドロップダウンメニューから「日本語」を選んでください）。お名前とEメールアドレスを入力して、このアンケートに答えた回答者の中から、抽選でこの100周年記念誌を贈呈します。また、同じく抽選で10名様にフォワード氏のサイン入りの本が、2名一組に2017年に米国アトランタで開催されるロータリー国際大会への無料登録が贈呈されます。

アンケート回答の締め切りは、2014年6月15日。抽選の結果と記念誌のタイトルは2014年7月に発表されます。ロータリー財団100周年記念誌は2016年初めに、日本語版を始め、英語、フランス語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語で出版される予定です。

アンケート： <http://www.rotary.org/trf100>

ロータリー「End Polio Now」のThunderclapに参加しませんか？

来る3月27日、世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）は、東南アジア地域全体（WHOが定めた地理的区分による）を「ポリオのない地域」として宣言します。これは、世界からポリオを撲滅する取り組みにおける大きな前進です。この地域には、11カ国（バングラデシュ、ブータン、韓国、インド、インドネシア、モルジブ、ミャンマー、ネパール、スリランカ、タイ、東チモール）が含まれており、その人口は18億人。世界6地域のうち、4番目にポリオ撲滅に成功した地域となります。

この歴史的な快挙のニュースを全世界に広げるため、「End Polio Now」のThunderclapにぜひご参加ください。

Thunderclapとは？

ソーシャルメディアは情報発信に最適ですが、一人で発信しても注目を集めるのは難しいものです。そこで、大勢の人が一斉にメッセージを発信して、ソーシャルネットワーク上での注目を一気に集めようというのが、Thunderclapです。Thunderclapに参加すれば、ツイッターやフェイスブックなどに全世界一斉に同じメッセージを発信できるため、大勢の人に届くだけでなく、話題性も高まると期待されます。

「End Polio Now」のThunderclapへの参加は

<http://thndr.it/lp8PaS7>

ポリオ撲滅活動へのご寄付

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/end-polio>

《ニコニコBOX》

松永祐司 親睦活動委員

緒方信行 会長 横尾 寛 幹事

本日は、30周年記念座談会となっております。福田会員、西沢会員、松尾会員の卓話を謹んで拝聴させていただきます。宮原プログラム委員長、よろしくお願い致します。

松尾辰二郎君

今日は30周年座談会の主役の一人です。創立時をなつかしく思い出させていただきます。金曜日、中央RCとの対抗戦参加の皆様ご苦労さまでした。残念乍ら負けたそうで来年に期待しましょう。

田島勝明君

先日の中央RC、中央会との対抗戦残念ながら敗れました。中井さん三谷さんそして峯さんにはお世話かけました。そして忙しいなか豊島さん、緒方会長には懇親会にご出席いただき誠にありがとうございました。30周年記念座談会楽しみに拝聴させていただきます。

小西宗十君

結婚記念日のお花ありがとうございました。福田会員、西沢会員、松尾会員、本日の卓話お疲れさまです。

湯口純二君	豊島揆一君	峯 徳秀君	武田二郎君
永田武義君	中島閏二君	村瀬高広君	森 豊君
平石晃一君	小川 寛君	深町 等君	小川一貴君
渡会祐二君	棧 護君	宮崎有恒君	古賀新二君
藤井良介君	宮原明夫君	蒲池芳明君	福田俊郎君
大鳥居 宏君	二ノ宮 健君		

本日は30周年記念座談会の福田会員、西沢会員、松尾会員の話楽しみに拝聴します。

本日の合計 32,000円

累計 1,368,000円

IT会報委員会 委員長 / 隈本幹彦

委員 / 大鳥居 宏

蒲池芳明

村瀬高広

（記事担当者 隈本幹彦）